

兵庫県医師会ドクターバンクだより

公立病院の経常収支黒字化

最近、慢性的赤字体質と揶揄されてきた地域の中核的公立病院の収支が改善あるいは黒字化したというニュースを耳にするようになった。そして、自治体のトップは誇らしげに「吾々の経営改善努力が実った」と公言する。しかし、実際には平成18年度に始まった診療報酬改定の看護必要度基準に基づく入院基本料の優遇、DPC採用、各種加算等々、医療費の削減を目指す厚労省と赤字体質の各自治体や全国自治体病院協議会などのニーズと要望が旨くマッチした結果と言える。一つの目玉であった「7対1入院基本料（7対1看護）」は急性期医療の実態に即した適切な看護配置という本来の政策目的外の病院も積極的に導入したため、厚労省が最初に予定した急性期病院の7対1看護病床数「2万床」は「35万床」にも膨らみ医療費の削減と結びつかなかった。先の診療報酬改定ではその点にメスが入れたのだが、7対1看護の規制強化は高度医療の大規模病院化を招来した。その結果、今後は中小規模病院の改革で医師・看護師に動きが出てくることが予想され、当バンクに出番が回ってくるのではないかと待機している。転職を考えられる場合には、先ずは当ドクターバンクにコンタクトをお願いします。

ドクターバンク・コーディネーター Y.I.

兵庫県医師会ドクターバンク実績（累計）

求人施設数	求人数	求職者数	マッチング件数	成立件数
486	1010	167	609	65

(注) 平成27年4月30日現在のデータを掲載。

<連絡先> TEL : 078-231-4114 (代表)

担当者 : 石澤・辰巳・西田・安慶名

FAX : 078-265-2822 (専用)

e-mail : info@hyogo-doctorbank.com (専用)